

「第 59 回 ぼくらのひろば」
表彰式の開催 & 詩集第 59 号の発行



2026 年 1 月 23 日

教育委員會學校教育部
學校教育推進課
課長 佐藤 崇史

ターゲット 4. a TEL : 924-2438

SDGs ターゲット 4.a 「全ての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供する」

郡山市内の小・中・義務教育学校の児童生徒から詩を募集し、優れた作品を表彰するとともに、「詩集 ぼくらのひろば 第59号」を発行します。

本年度は 1062 編の応募があり、その中から特選 20 編、入選 50 編、佳作 80 編の入賞作品が選ばれました。

1 表彰式

- (1) 日 時 1月31日(土) 午前10時30分～11時40分

(2) 会 場 ミューカルがくと館 1階・大ホール 郡山市開成1丁目1-1

(3) 出席者

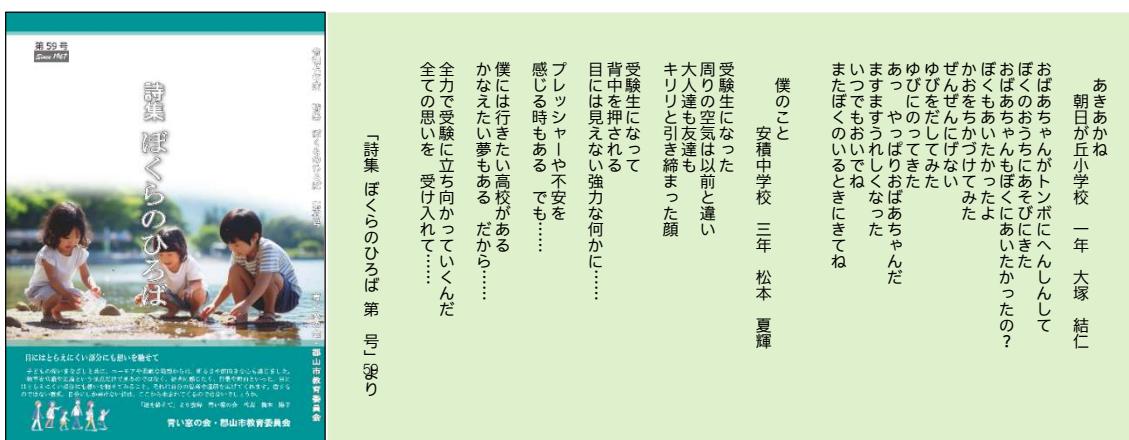
 - ・特選に選ばれた児童生徒（20名）と保護者
 - ・青い窓の会 代表 橋本 陽子 様
 - ・郡山市教育委員会学校教育推進課長

(4) 内 容

 - ・表彰
 - ・講評・講話 審査委員長 青い窓の会代表 橋本 陽子 様
 - ・詩の朗読発表 小学生2名・中学生1名
 - ・記念撮影

2 「詩集 ぼくらのひろば 第59号」の発行

- (1) 掲載作品 入賞した詩
(2) 150 編 (特選 20 編・入選 50 編・佳作 80 編)
(3) その他 ・詩集は市内の公民館や図書館でご覧いただけます。



■ ■ ぼくらのひろば ■ ■

1967（昭和 42）年から毎年市内の児童生徒から作品募集、詩集を発行しています。

■ ねらいは

- ・ 児童生徒が継続的な詩の創作に取り組む機会を提供し、作品作りを通して感性を高め、豊かな心情を養う。
- ・ 優秀作品を選び、詩集「ぼくらのひろば」に収め、児童生徒が作品を通して年齢や地域を越えて交流する。

■ 経緯について

- ・ 1967（昭和 42）年、郡山児童文化協会（当時）と「ボクラのひろば」運営実行委員会の協力により、子供たちの自由な表現の場として始められました。詩の選考には、当時、児童詩活動をしていた佐藤 浩氏（青い窓の会主宰）が携わりました。
- ・ 2001（平成 13）年には、郡山市教育委員会の運営となり、『青い窓の会』の代表 橋本陽子 氏の協力により現在まで継続されています。
- ・ 1975（昭和 50）年 6 月号より「広報こおりやま」毎号に入賞した子ども達の詩が掲載されています。

■ 『青い窓の会』について

- ・ 1958（昭和 33）年 5 月、詩人 佐藤 浩 氏と仲間たちにより創始。現在の代表は橋本陽子 氏
- ・ 児童詩誌『青い窓』は令和 7 年 5 月で創刊 67 年を迎え、現在 620 号を数えます。
- ・ 子ども達の詩は太陽の匂いがします。子ども達に『よく見つめ、よく考え、ていねいに生きましょう』。そして、大人の社会に向かっては、『心も含めて、子どもの実像を見て下さい』と呼びかけて参りました。
- ・ 「青い窓から世界の窓へ。世界は空でつながっている。ふくしまから子どもたちの声を世界に届けよう」をコンセプトに、子どもたちの詩を英訳し、世界に広める活動もしています。

（青い窓の会様より）



青い窓ホームページ